

令和6年度 勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

福岡県済生会大牟田病院

項目	目標	具体的な取り組み内容	評価
初診時の予診の実施	【継続】 現状の計画実施状況について検討を行い、必要に応じて改善を図る。	問診票等の記載について看護師及び外来クラークが患者を補助する形式で対応。	問診についての研修会を行い実施中
静脈採血等の実施	【継続】 現状の計画実施状況について検討を行い、必要に応じて改善を図る。	基本的に外来・入院患者の採血は看護師が実施。	実施対応中
入院説明の実施	【継続】 現状の計画実施状況について検討を行い、必要に応じて改善を図る。	入院が必要となる理由や根拠については医師、入院手続きに係る部分については看護師及び外来クラークが実施。	
検査手順の説明の実施	【継続】 看護師だけでなく医師事務作業補助者との分担を検討。	検査が必要な説明・根拠は医師が説明を行い、具体的な部分については看護師が説明。	検査説明については説明を統一するために看護部で説明会を実施中
服薬指導	【継続】 現状の計画実施状況について検討を行い、必要に応じて改善を図る。	薬剤師が実施。休薬の指導は看護師が行う。	実施対応中
医師による治療方針等の説明	【継続】 現状の計画実施状況について検討を行い、必要に応じて改善を図る。	看護師が説明前に情報収集を行い、患者・家族等の要望を聴取するとともに、医師との十分な意思疎通を図れるよう体制をとる。	看護部で業務調整をしながら関わりを持てるように調整中
勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施	労働条件通知書の遵守する。 【継続】 現状の計画実施状況について検討を行い、必要に応じて改善を図る。	【勤務の態様】 少数の要注意患者の診察等や看護師等に対する指示確認。軽傷～中等症外来患者や、かかりつけ患者の処置・診察や看護師等に対する指示および確認とする。 【その他】 非常勤医師の活用を行い連続当直とならないように配慮する。	定期的の実態調査を実施
前日の終業時刻と翌日の就業時刻間の一定時間の休息			

項目	目標	具体的な取り組み内容	評価
医師事務作業補助者	検査・処置・投薬オーダー補助	継続実施していく	適正配置により達成
	退院証明書・サマリー・返書作成補助	・医師事務作業補助者の業務範囲を周知(可能な業務を理解していただく) ・個々人の能力UP ・継続した研修の実施	・研修内容の確認作業を行う ・個々人の課題を明確にし研修に活かす
	リハビリテーション部門	侵襲性を伴わない嚥下検査	対象患者の選定→医師・関係職種との調整→嚥下検査実施→検査結果を医師・病棟スタッフと情報共有
薬剤部門	処方代行入力(外来・入院)	疑義照会内容に応じて処方変更	システム構築完了し運用 化学療法室と連携して実施
	処方継続・中止の確認	病棟専任薬剤師による薬歴管理	
	抗癌剤投与患者への治療説明	病棟・外来において説明書をもとに説明	
放射線部門	核医学検査の放射性医薬品の注入		技師7名中5名が告示研修終了 全員終了後実施予定
	診療放射線技師による造影剤注入静脈路の確保		技師7名中5名が告示研修終了 全員終了後実施予定
臨床検査部門	TPN, CVポートの介助 カメラ検査の介助 検査内容に関して、患者様への説明	有資格保持者の増加, 他部署との連携強化	現在有資格者数1名
栄養部門	一般食患者に対する食事評価	摂食状況や患者からの要望を聞いて、食形態の見直しを行う	管理栄養士の病棟配置に至らないので、情報収集や対応に時間を要している
	入院個別栄養指導の実施	対象となる疾患(特別食)の患者に対し、必要とあらば先に栄養指導を行い、実施報告を行う	トラブルなく運用できている